

人、企業、社会をつなげ、活力を高め、
新たな価値を創造する企業向けソーシャル・ソフトウェア



IBM Lotus Connections

予測が困難な時代に、「垣根」を越えたコラボレーションを実現する企業向けソーシャル・ソフトウェア

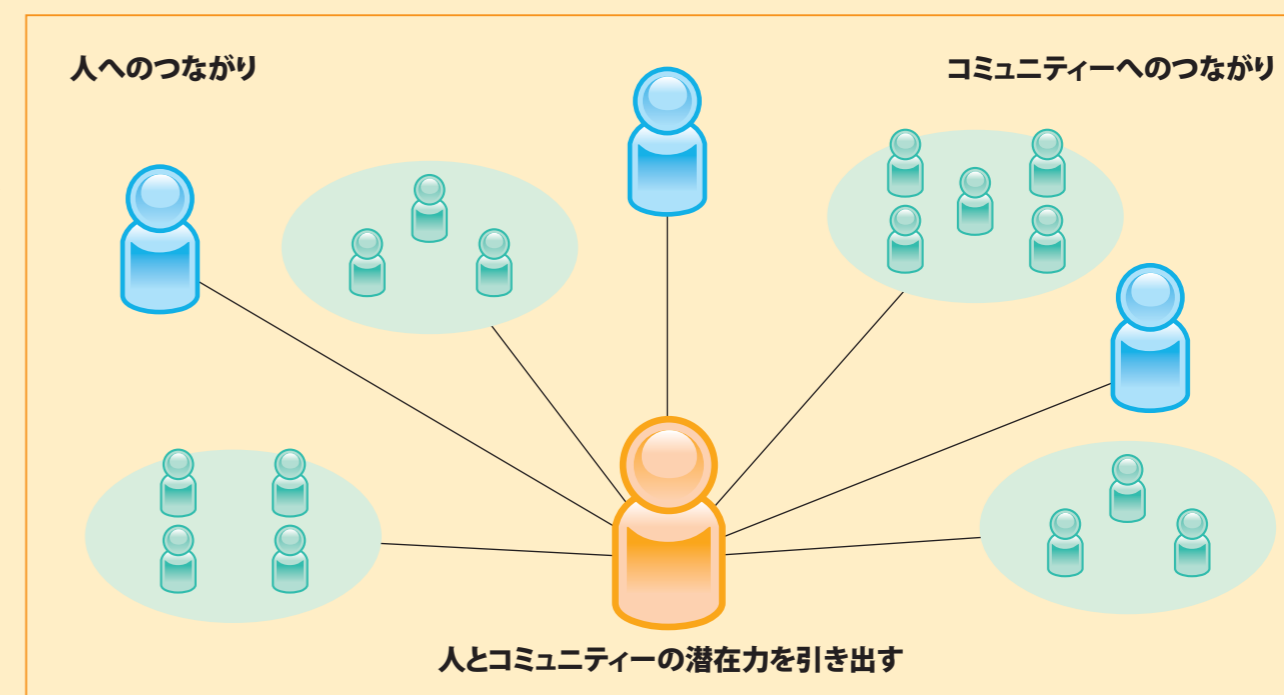


ビジネスモデルの変革と市場へのスピーディーな対応のためには、これまでの組織や企業の枠組みをこえた新たなつながりで、アイデアや技術を持ち寄るコラボレーションが必要になっています。その上で、人々が容易に気兼ねなく意見を交わせ、融合をはかる場所が必要です。

それによって、新たな人々を巻き込み、個人の意見や得意技を逃さず捕らえ、活発に情報交換しながら、互いのつながりを広げ、また深め、新たな価値を繰り出し、創造します。

- 組織、企業をまたがる専門家、専門的知識への接触
- 素早い試作、商品開発、問題解決、ビジネスモデル開発
- 意見・要望の吸い上げ
- 世代間を越える知恵の伝承
- 情報交換、交流、活性化

IBMは人々が積極的に、コミュニケーションを通じてつながり、生き生きとした空間で相互に高め合い、新たな価値を創造するソーシャル・ソフトウェアを提供します。



Lotus Connectionsは、
『IBMがビジネス向けソーシャル・ソフトウェア製品を市場投入するやいなや、導入が急速に進んでいる』*1
『最速の成長を遂げているIBMのソフトウェア新製品』*2

*1: IBM Corporation決算発表、2008年1月
*2: IBM Corporationプレスリリース、2008年6月

人とコミュニティへの新たなつながりとコミュニケーションから生まれる、明日への変化

最新情報を一瞥チェック



各機能の小窓(ウィジェット)を集約し一覧表示したり、自分が関係する人々の更新情報を一瞥して、全体の動きを把握することができます。

タブの選択により、見たい更新情報の範囲を、全体、関係する人々、個人のレベルで表示でき、状況に合わせて素早く更新内容を把握できます。

Homepage
ホームページ

知恵者、専門家を探し出し、新たな人とのつながりを持つ

Profile
プロフィール

自己紹介に本人の基本情報、専門知識、資格だけでなく、関係するコミュニティ、掲載するブログ、ファイルやブックマークをひとまとめにして参照できるので、その人の知識や関心事を把握できます。

マイクロブログを通じて、現在の状況、悩み、成功など、今すぐ伝えたいことを書き込める他、これを使ってその人に質問をすることもできます。

タグ付けにより、その人を分類することもできます。



マイプロ
日本橋 咲子
日本アイ・ピー・エム株式会社
ソフトウェア事業 ローダ事業部
東京都中央区
00-0000-0000
NIPPON@ibm.co.jp

タグ
推進委員会
2009/05/14 更新中
販売促進

有志が集い、人々がつながり、知識や意見を交わし、新たな価値を創造する

Community
コミュニティ

共通の関心分野や目的を持った人々が集まり、アイデアを持ち寄り考えを取り交わす中で、課題を解決したり新たな価値を生み出すことができます。

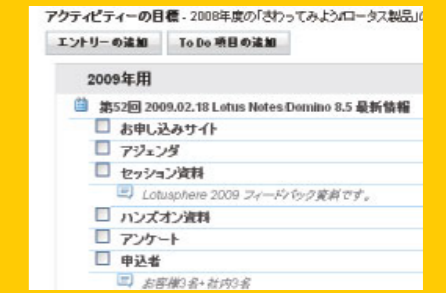
開放的な空間で熱意を持って取り組む中で、互いの関係強化、コミュニティやブランド、企業などへの帰属意識や意欲の向上にも役立ちます。

各コンポーネントの機能に加え、フォーラム、フィードが利用でき、包括的に情報をまとめ、様々な作業を管理できます。



Community Forum
ディスカッション・フォーラム
概要
メンバー
ディスカッション・フォーラム
フィード
ブックマーク
Wiki
ファイル
アクティビティ

メンバーでTO DOを「見える化」



グループやコミュニティで作業を実施する際に、スペースを作り、作業を管理、遂行できます。

作業に関係した、メールやインスタントメッセージ、各種ファイルなどの素材を寄せ集めることができると同時に、メンバー内でTO DO項目を階層的に細かく作成し、作業の分担、管理を容易に行えます。

Activities
アクティビティ

お互いのコンテンツに情報の見出しを付けて分類

タグ付けをコンテンツや人にも行うことができ、有用なコンテンツを容易に分類し、たどり着くことができます。よく使われるタグは大きく表示され、注目される話題も、ひとめで分かります。

情報発信

知の創造からアイデアの提供まで



日々の気付きやアイデアを記し、それについての質問、賛同などをコメントとして受け取れます。閲覧者は、専門家による書き込みから、新たな知識を得ることができます。個人のブログでもコミュニティのブログでも利用できます。

Blogs
ブログ

知の蓄積と将来への伝承



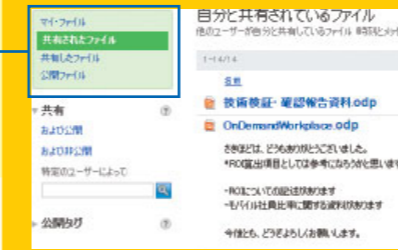
共同で文書を作成し、知恵を持ち寄って、編集、推敲することができます。参照権限、編集権限を管理でき、管理者が開示、閉鎖できます。

Wikis
ウィキ

幅広い意見を集めることで、高品質なウィキ文書が作成できます。

コミュニティ内から使用した場合のコンポーネントメニュー

成果物の整理と発信

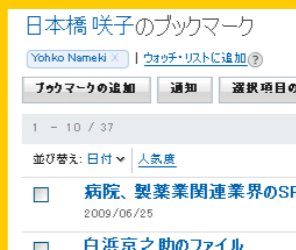


Files
ファイル

ファイルを送信する代わりにウェブ上に掲載し共用できます。コンテンツへのコメントを付けられ、それに応じてアップデートできます。参照権限により閲覧者を限定したり、参照状況を把握したり、バージョン管理も行えます。ユーザーにとって重要なファイルは、コレクションとしてリスト化できます。

コンテンツ共有

ためになるブックマークを共有



Bookmarks
ブックマーク

ブックマークを掲載、共有できます。同じブックマークを使っているユーザーのブックマークを参照したり、タグによって同じキーワードのブックマークを参照できるので、類似の関心分野への情報に幅広く、素早くたどり着くための情報源となります。



©Copyright IBM Japan, Ltd. 2009
日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

Produced in Japan
August 2009
All Rights Reserved

■詳細情報

IBM Lotus Connections の詳細については、下記のWebサイトをご覧ください。

ibm.com/software/jp/lotus/products/connections25/

■お問い合わせ

IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員、またはダイヤルIBMへ。

フリーダイヤル：**0120-04-1992**

営業時間：9時～18時（土曜、日曜、祝日、12月30日～1月3日を除く）

※携帯電話でおかけのお客さまは、下記の電話番号をご利用ください。

ダイヤルIBM 03-6220-8002（この場合通話料はお客さまのご負担となります。）

- 掲載された情報は2009年8月現在のものです。事前の予告なしに変更する場合があります。
- 表示画面の出力例は本カタログ用に作成したもので、実際のものとは異なる場合があります。特に断り書きのない出力例のデータ部分は全て架空のものです。
- 製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。
- 本事例中に記載の肩書や数値、固有名詞は掲載当時のものであり、変更されている可能性があることをご了承ください。
- 事例は特定のお客さまでの事例であり、全てのお客さまについて同様の効果を実現することが可能なわけではありません。

IBM、IBM ロゴ、Lotus は、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBM または各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。